

友 友 FRIEND OF SPORTS

友穆(ゆうぼく)～仲の良い友の意

宮崎書

札幌市スポーツ推進委員会広報誌 Vol.115

特集

ラグビー

活動紹介(北区)

第43回北区少年少女スポーツ大会



特集 タグラグビー

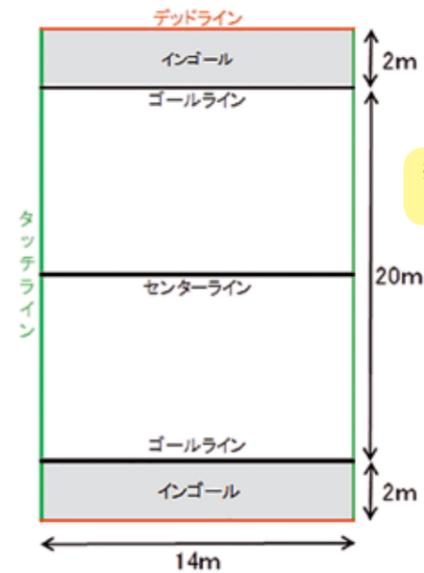
2019年、日本で初めて「ラグビーワールドカップ」が開催されます！札幌ドームも試合会場となっており、世界各国の迫力あるプレーを間近で見られる絶好のチャンスです。

今回は、タックル・キックなしで年齢・性別に関わらず誰でも出来る「タグラグビー」をご紹介します。ルールを覚えてタグラグビーに挑戦してみませんか？そして来る2019年、日本を応援しましょう！（山内委員）

タグラグビーのルール

タグラグビーは「タックル」も「キック」もありません。ラグビーボールを持って走り、パスし、ゴールに向かってみんなでボール運ぶという簡単なゲームです。

- じゃんけん等で最初に攻めるチームを決め、センターライン中央から自分より後ろ2m以内の味方にパスしてゲームを開始します。
- 試合は1チーム4～5人で、5分ハーフの前後半戦で行います。「タグラグビー」で一番大事な「タグ」を、選手は腰の左右に付けます。



- 相手のゴールラインから後方2m以内のエリア（インゴール）に入って、どこでもボールを置けば、1点（トライ）となります。

- 攻めるときは、ボールを持ってゴールに向かって走ります。タグを取られたら走るのをやめて止まり、味方にパスします。
- 相手チームをとめるには、ボールを持った選手のタグを取ります。タグを取ったときは、頭上に掲げ、みんなに聞こえるように大きな声で「タグ！」とコールしましょう。

禁止プレー

- スローフォワード
自分より前にいる味方にパスはできません。
- ノックオン
ボールを前に落としてはいけません。
- パスカット
タグのあとの最初のパスや、フリーパスを邪魔してはいけません。

よくある用語

- タッチ
ボールを持ったプレーヤーがタッチラインを踏み越えたり、ボールが外に出ること。相手チームのフリーパスでゲームを再開します。
- ノーサイド
ゲームが終わること。勝っても負けても、相手の健闘を称え、友達になること。

詳しいガイドや楽しみ方は（公財）日本ラグビーフットボール協会 タグラグビーホームページで公開中！

<http://www.tagrugby-japan.jp>

タグラグビー

検索

月寒ラグビー場で行われた「北海道ラグビーフェスティバル」の様子を取材してきました！

低学年のミニ・タグラグビー体験会の様子



タグラグビーは、誰でも参加できるゲームです。体が鍛えられ、仲間とのコミュニケーションも図れるため、ぜひやってみませんか？（清野委員）

高学年のラグビー体験会の様子

高学年は、本格的な試合形式で練習していました。この中から全日本選手が出てくるかもしれないと思うと楽しみです！（長太委員）



オーバー60ラグビーの様子



一個の楕円球に群がる30名。動きはスローでも皆さん一生懸命で楽しそう。生涯現役！認知症なんてどこ吹く風ですね！（松原委員）

今回会場となった月寒屋外競技場（ラグビー場） 豊平区月寒東1条8丁目



よく整備された芝グラウンドで、最大4,715人の観客収容能力があることから、大学・社会人や国際試合など、トップレベルの試合が毎年行われています

キレイな緑の芝はとても丁寧に手入れされ、青空の下この芝の上をおもいっきりプレーするのはとにかく気持ちよくだらうなあと感じました（堀井委員）。

? ラグビー場のひみつ

月寒ラグビー場は、中央部分が端よりも15cm高くなっています。これは、フィールドの水はけをよくするとともに、ボールが外に出やすくなるためのものであり、ラグビー専用施設ならではの特徴となっています。



第43回北区少年少女スポーツ大会

北区では、毎年9月に「少年少女スポーツ大会」を開催しており、ドッチボールやミニバスケットボールを行っています。大会では審判を務めることから、推進委員全員でゲームをしながら、審判の研修を複数回行い、大会に備えています。



このほかにも、年間を通してさまざまな活動を行っています。

- 北区スノーホッケー大会 2月 ● 年6回のスポーツ研修会
- スポーツの実技研修 ※今年度は卓球を予定

各区のスポーツ情報が満載

札幌市スポーツ部ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/sports>

札幌市スポーツ推進委員会ホームページ <http://www.sapporo-sposhin.jp>

編集後記

芝の上で夢中になって楕円球を追う姿は、幾つになっても変わらない「楽しい遊び」のようにもみえます。

One for all. All for one. (一人は全員のために、全員は一人のために)

No side. (今まで闘った相手も終了のホイッスルで一つの輪になって互いを讃えあう)

こんな心を持って、協力しあいながらボールを運ぶ少年ラグー達から、体を動かす楽しさが伝わってきました。